

細田木材工業の木製タイルシステム

SQUARE WOODS

TAMA

壁に国産材活用
の新提案。

基本形は正方形、用途次第で長方形に、木材をタイルのように扱うことのできるシステムを私たち細田木材工業が開発しました。その名も「スクウェア ウッズ 多摩」。このシステムを活用すれば、木材の強度に関わらず木目や木の特性を生かした壁づくりが容易になります。もちろんどの材にも応用可能ですが、我々の地場産である多摩産材を推奨します。スゴの可能性が広がります。

本プロジェクトは東京都の「多摩産材利用開発事業補助金」を受けています

システム

スクウェアウッズの取り付けシステムについてご説明いたします。

パネル下地の取り付け

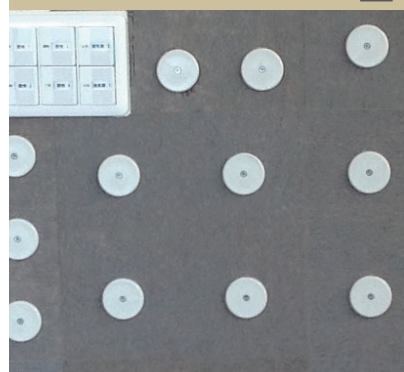
1



バックラー / メラミン素材の薄くて強度の高い素材を壁に取り付けます。素材にはあらかじめ留め具を取り付けるために加工が施されています。変化に極めて強い素材であり、安定しています。

留め具の取り付け

2



再生ポリプロピレン 30% を使用した、ポリプロピレン留め具です。精度が高く、湿度、温度にも極めて変化が少ない素材です。パネル下地にドライバーで取り付けだけの簡単施工です。

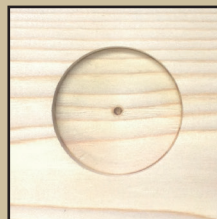
多摩産材タイルを取り付け

3

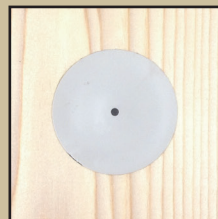


あらかじめ正方形や長方形にカットした多摩産材を留め具に取り付けます。強力にはめ込まれ、通常ではまったく外れません。この材の加工には、細田木材の精密技術が生きています。

細田木材工業の技術



木材の裏側には留め具取り付けの穴を削り出しております。サイズの精度は極めて高く、留め具を一度付けると木材の収縮で外れません。木材の扱いに長けた、細田ならではの技術です。

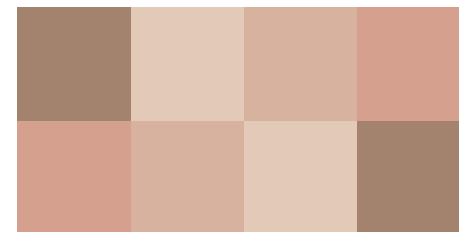


木材と相性の良い留め具の選定にも余念がありません。また、取り付け後、タイルとタイルのスキマの調整など、木材以外のさまざまな箇所にも、細田の技術が詰まっています。

スクウェアウッズの活用例

ここでは、スクウェアウッズをどのように利用できるかの想定活用例をご紹介します。

モザイク状で配置



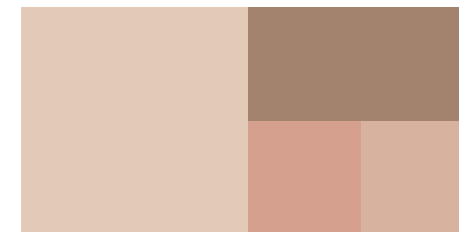
木目を生かしてタイルをモザイクにみてることも可能です。ユニークな木目を楽しみながら、壁に国産材をより多く活用できるようになり、環境貢献度も高まります。

色を変えて配置



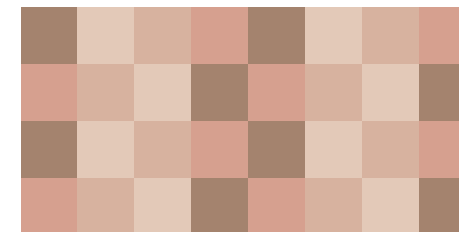
もちろん、タイルの色目を変えることで多彩な表情を演出することも可能です。空間デザインに合わせてさまざまな色味でご活用いただけます。

サイズを分けて配置



木材のカット次第で、長方形や、別の形状にすることも可能です。インテリアコーディネート幅も広がり、国産材活用の新しい可能性を広げます。

全面的に利用



壁全面に使用することで、従来の木材壁とはことなる印象を提供することが出来ます。これなら簡単に大きな壁を木材でおおうことも可能です。

多摩産材活用の意義

日本の人工林は、今危機的状態にあります。人工林はいわば「木の畑」、50 年以上前に植えたものが今ようやく出荷されるというタイムスパンです。しかし、その間に社会は大きく変わりました。現在、人工林面積の 40% 以上を占めるスギやヒノキといった樹種が使われているのを、大都市圏で目にすることはほぼありません。東京生まれである多摩産材も同様です。こうした現状を受け、都内に居を構える細田木材では、まず多摩産材の活用を通して国産材活用につなげるべく、チャレンジを続けています。スクウェアウッズの開発も、こうした取り組みの一環です。



※今回の材料は間伐材や、これまで表には使用が難しかった品質の材を使用しています

本開発にあたり

本開発においては、NPO 法人であるフォレストリンクにご協力いただいております。また、現段階では開発の段階であり、量販体制構築はこの後の取り組みとなります。東京都の助成金を受けた開発フェーズは順調に進んでおります。受託依頼や本製品についてご興味のある方は、弊社までお問合せください。真摯にご対応させていただきます。

FOREST < LINK

NPO 法人フォレストリンク

www.forestlink.jp

お問合せ先

細田木材工業株式会社 生産本部 〒136-0082 東京都江東区新木場 2-5-3 TEL:03-3521-8701 FAX:03-3521-8708